

平成20年10月31日

各 位

上場会社名 全日本空輸株式会社  
 代表者 代表取締役社長 山元 峯生  
 (コード番号 9202)  
 問合せ先責任者 総務部長 小辻 智之  
 (TEL 03-6735-1001)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年4月30日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,510,000	80,000	52,000	27,000	13.86
今回発表予想(B)	1,460,000	55,000	29,000	17,000	8.74
増減額(B-A)	△50,000	△25,000	△23,000	△10,000	――
増減率(%)	△3.3	△31.3	△44.2	△37.0	――
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	1,487,827	84,389	56,523	64,143	32.93

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,350,000	70,000	43,000	24,000	12.32
今回発表予想(B)	1,320,000	50,000	28,000	16,000	8.22
増減額(B-A)	△30,000	△20,000	△15,000	△8,000	――
増減率(%)	△2.2	△28.6	△34.9	△33.3	――
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	1,341,360	73,799	46,212	50,532	25.94

## 修正の理由

世界規模で景気が急減速している中、わが国においても景況感は一段と厳しさを増してきております。航空運送事業においては、個人消費の低迷による旅行需要の減少や、企業業績の悪化に伴うビジネス需要の鈍化等、下半期についてはさらに厳しい需要動向となることが予想されます。かかる状況の下、売上高が当初予想を下回る見通しとなったため、連結および個別の通期業績予想を修正しました。なお、業績予想の前提として、第3四半期以降の米ドル円為替レートを106円、航空燃油費の一指標であるドバイ原油の市場価格を1バレルあたり75米ドル、シンガポール・ケロシンを1バレルあたり100米ドルとしております。

(注)上記の予想は本資料発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以 上